

徳永孝哉氏文書(1)概要

1:文書群番号	076003
2:文書群名	徳永孝哉氏文書
3:出所	徳永孝哉家・孝哉氏夫人実家
4:家業・役職等	徳永孝哉家は庄屋 孝哉氏夫人実家は福山藩士
5:地名	摂津国川辺郡上坂部村／兵庫県川辺郡上坂部村／川辺郡園田村上坂部／尼崎市上坂部／尼崎市上坂部2・3丁目ほか
6:行政区分	旗本船越氏(維貞系)知行所／兵庫県第11区／上坂部組戸長役場／園田村／尼崎市
7:歴史	<p>上坂部村は市域中央部やや北東、久々知をはさんで下坂部の北西に位置する。近世には東株・西株に分かれ、それぞれに庄屋・年寄が置かれていた。慶長4年(1599)～明治に至るまで一貫して旗本船越氏の知行所であった。</p> <p>徳永家は代々上坂部村東株の庄屋を務めた。第10代俊蔵は苗字帯刀を許され、徒士格を仰せつけられて上坂部村の領主である旗本船越氏の家来となった。</p> <p>明治22年(1889)以降は園田村、昭和22年(1947)以降は尼崎市の大字になった。</p>
8:伝来	<p>市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和51年に徳永孝哉氏が史料館へ寄託。なお、孝哉氏夫人の実家が福山藩上級家臣の家であり、この家の文書も若干含まれている(№24～30)。同氏文書(2)246点と本来一体。</p>
9:史料入手先	徳永孝哉氏
10:点数	1750点(目録件数357件)
11:年代	慶長6年～大正2年(1601～1913)
12:構造と内容	<p>本文書群の大半は、近世上坂部村の村政文書である。なかには慶長年間に船越氏より下された折紙なども含まれており、貴重である。</p> <p>その他特徴的なものとして村絵図、船越氏借財対応としての「御改革」願い文書、出府入用目録控帳などがある。</p> <p>近代文書としては、大正期を中心に土木協議費、小作品評会等園田村村政史料がある。</p>
13:関連史料	徳永孝哉氏文書(2)、尼崎市立文化財収蔵庫蔵徳永家文書
14:閲覧条件	マイクロフィルム・同プリント、原本
15:検索手段	「徳永孝哉氏文書(1)目録」(『史料館目録4(園田-16)』)
16:作成者	河野 未央